

## 特集 2

# 震災復興をサポートしたプロジェクトで 地域に新しい「森の学校」が誕生した

オカムラグループは、東日本大震災の被災地の復興に向けて、継続的な支援を行っています。こうした活動の一環として、一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団を中心に進められている「アフアの森 震災復興プロジェクト」に参画。大きな被害を受けた宮城県東松島市における「森の学校づくり」など、地域再生への取り組みを支援してきました。2017年1月には、東松島市立宮野森小学校の新校舎が誕生するなど、未来へ向けた確かな歩みにつながっています。



## 震災直後から東松島市でスタートした 「アフアの森 震災復興プロジェクト」

東松島市では、東日本大震災によって市内14校の小中学校のうち8校が津波による浸水被害を受けました。特に成瀬地区の3校の校舎は、甚大な被害で使用できない状況になり、解体されることとなりました。そうした中で、C.W.ニコル・アフアの森財団は、長野県黒姫にある「アフアの森」に被災地の子どもたちを招待することを企画。2011年の8月と9月に、東松島市の18家族58名が、この呼びかけに応じて参加しました。命あふれる森で思いきり遊ぶプログラムの中で、心を解放した子どもたちの明るい声と笑顔が広がりました。

「森って、いいね」の想いは、震災復興において、東松島に「森の学校をつくろう」という想いにつながります。2012年7月に、東松島市と「復興に向けた連携及び協力協定書」が締結され、「森の学校」の実現に向けた活動が本格的にスタート。地形と豊かな自然を生かし、持続可能な地域の創造にアプローチした、まったく新しい「森の学校」の建設計画が進められました。オカムラはいち早くこのプロジェクトの協賛企業、委員会メンバーとして参加しました。

### ● アフアの森 震災復興プロジェクト 体制概要



#### アフアの森 震災復興プロジェクト

特別協賛：イオン1%クラブ

協 賛：アサヒグループホールディングス株式会社  
株式会社岡村製作所

#### 森の学校プロジェクト委員会 委員（各組織のみ記載）

東松島市復興政策部

東松島市教育委員会

有限会社アグリードなるせ

宮城大学

早稲田大学

イオン株式会社

アサヒビール株式会社

株式会社岡村製作所

一般財団法人サンデン環境みらい財団

事務局 C.W.ニコル・アフアの森財団

## 木に包まれた「森の学校」とともに 森で授業のできるさまざまな場を創造

校舎建設地の北側に広がる森は「復興の森」と名付けられ、学校の一部として自然環境の中で授業のできるさまざまな場が創造されています。2013年6月には、森のシンボルであり癒しのスペースである「ツリーハウス」がオープンしました。さらに、2014年10月には街と海を眼下に一望できる「うまのひづめ展望デッキ」、2015年11月には森の音に耳を傾けることができる「サウンドシェルター」が完成。そして、野蒜小学校と宮戸小学校が統合した宮野森小学校の新校舎の落成式が、2017年1月9日に行われました。翌日からは、3学期の授業がスタート。子どもたちの元気な声が、木のやさしさに包まれた新しい「森の学校」に響き渡りました。



ツリーハウス



うまのひづめ展望デッキ

なお、オカムラはこの「アフタンの森 震災復興プロジェクト」のメンバーとして活動したことに対し、2017年3月に東松島市から感謝状をいただきました。



サウンドシェルター



復興の森の全体イメージ



宮野森小学校 新校舎での授業の様子



東松島市からの感謝状を拝受



マーケティング本部  
オフィス研究所 主任研究員  
森田 舞

### 子どもたちの未来につながる、森の恵みを生かした 学びの空間・環境づくりのお手伝いできた。

#### 生物多様性のことなども子どもたちに教える場

私はオカムラのオフィス研究所で、教育施設を中心に、学びの空間や環境はどうあるべきかなどについて研究しています。未来のために、子どもたちの居場所、学びの場所を真剣に考えたいという企業や団体が集まった複合プロジェクトの委員会のメンバーになって、少しでも復興のお手伝いできたのではないかと考えています。周辺の森と一体となった木造の公立学校は、あまり例がないと思います。この地域や環境のこと、そして生物多様性のことなども、子どもたちに伝えたいという熱い想いが学校の建設につながったのは、たいへん意義のあることだと感じています。

#### まちのシンボルとなり地域に愛される学校へ

委員会では、学校のことや森のこと、復興の状況などに対して、みんなで真摯に向き合いながら話し合いが行われました。東松島市の強力なバックアップがあり、市全体の復興計画と連動していたので、大局的な視点とともにプロジェクトを推進できたと思います。そうした中で、私たちが竹藪刈りを行うなど、山の整備のお手伝いをしました。また、プロジェクトについて多くの人に伝えるために、毎年開催される「エコプロ」などのイベントでセミナーを開催しました。そして2017年春、東松島市のまちのシンボルとなり、地域に愛される学校となることをめざし、教育活動がスタート。未来につながる教育の場をつくるお手伝いでき、子どもたちが笑顔で飛び跳ねる姿を目にすることができて、本当に良かったと思います。